

これまでの川崎市自治推進委員会の調査審議について

<第1期>

設置期間 平成19年2月～平成20年3月
 調査審議事項
 ・自治運営に関する制度等の構築・実施状況について確認し、重点的な事項として、1「協働のまちづくり」、2「情報共有」及び「区民会議」について調査審議。
 ・自治基本条例に基づく市民自治の推進に向けた効果的な手法や仕組みなどについて10の提言を取りまとめた。

市民自治の推進に向けた10の提言

- ①自治に向き合う職員の育成
- ②自治意識の醸成
- ③協働実践の共有
- ④協働推進施策の整備
- ⑤政策形成過程の情報共有の推進
- ⑥ターゲットを見据えた情報発信の手法等の構築
- ⑦情報コンシェルジュ機能の充実
- ⑧区民会議の情報発信の推進
- ⑨区民会議と関係団体との連携の推進
- ⑩各区区民会議の交流の推進

<第2期>

設置期間 平成20年11月～平成22年3月
 調査審議事項
 ・第1期の調査審議を踏まえ、「参加」「協働」をメインテーマとして、制度・仕組みの検証、参加・協働の事例などについて調査審議。
 ・自治基本条例に基づく参加と協働による市民自治の推進に向け、8つの提言を取りまとめた。

参加と協働の推進に向けた8の提言

- ①「参加のスタンダード」に基づく市民参加の拡充
- ②新しい参加手法の検討
- ③地域の意見を反映できる参加の組み立て
- ④より開かれた区民会議
- ⑤多様な参加機会の拡充
- ⑥参加をコーディネートする行政職員の育成
- ⑦市民活動団体以外にも「6つの協働の原則」を適用
- ⑧CSRを踏まえた事業者との協働の推進

<第3期>

設置期間 平成22年12月～平成24年3月
 調査審議事項
 ・自治基本条例に基づく制度・仕組みの運営状況を俯瞰的に把握するため、条文と照らし合わせて、それぞれの取組状況を調査。
 ・第1期・第2期委員会からの提言を受けて策定した「市民自治の推進に向けた第2次推進プラン」に基づく自治推進の取組状況を調査。
 ・「参加・協働の拠点としての区役所」をメインテーマとして、区役所における取組の事例を中心に調査審議(各区における現状や取組事例をもとに、委員自身のこれまでの体験などから意見交換)。

区役所が参加・協働の拠点として機能を発揮するための方向性

- 1 協働の当事者としての地域情報・ニーズの把握と対応力の向上
 - 区役所は、参加・協働の拠点として、そのネットワークと現場性を活かし、地域情報や区民のニーズの把握に努めることが求められる。
- 2 コーディネート能力の向上
 - 区役所は、地域資源を活用しながら市民や事業者の力を発揮できるようなコーディネート能力を高めるとともに、性質の異なる組織の連携については、「つなぎ手」としての役割を果たすことが求められる。
- 3 地域課題解決のきっかけづくりと参加・協働の環境整備
 - 区役所は、区で実施する講座の受講者が市民活動の担い手として市域で活躍してもらうためのサポート機能をより発揮することが求められる。また、市民活動の拠点や地域のコミュニティ形成の場となりうる区内の様々な施設を活用し、率先して参加・協働の場を広げ、地域課題の解決につなげていくことが求められる。
- 4 地域に根ざした情報提供と発信力の強化
 - 区役所は、政策分野を横断する地域課題の解決のため、地域の総合行政機関として、情報発信力をより一層高めていくことが求められる。

めざすべき4つの区役所像

- 1 地域の課題を発見し、迅速・的確な解決を図る区役所
- 2 地域活動や非営利活動を支援する市民協働拠点としての区役所
- 3 市民に便利で快適なサービスを効率的かつ効果的に提供する区役所
- 4 地域住民の総意に基づく自治を実践する区役所

市民自治の推進に向けた第2次推進プラン(H22.10川崎市)

- ・第1期、第2期の提言を5つの柱、12の取組に整理・体系化
- ・提言の具現化に向けた行政における取組の推進

I 総合的な自治の醸成	1 自治に向き合う職員の育成
	2 自治意識の醸成
II 情報共有の推進	3 政策形成過程の情報共有の実践
	4 ターゲットを見据えた情報発信の手法等の構築
	5 情報コンシェルジュ機能の充実
III 市民参加の拡充	6 質の高い市民参加の機会の拡充
IV 協働のまちづくり	7 協働実践の共有
	8 協働推進施策の推進
	9 事業者等との協働の推進
V さらなる区民会議の充実	10 区民会議の情報発信の推進
	11 区民会議と関係団体との連携の推進
	12 開かれた区民会議の推進

市民自治の推進に向けた10の提言推進プラン(H20.11川崎市)

- ・全庁的な課題の共有化と連携・調整を図るために策定
- ・第1期の10の提言について具体的な取組を整理